

《2024年5月6日(月・祝) 12:00~14:00》

広島ドラゴンフライズ・朝山正悟引退記念特別番組

自らの言葉で語る「朝山正悟 20年の轍」

5月5日、広島ドラゴンフライズのチームキャプテンを務める朝山正悟選手の引退セレモニーが行われ現役生活20年に幕を下ろすこととなりました。RCCラジオでは翌日、ユニフォームを脱いだレジェンドをスタジオに迎え、特別番組「マリモ プレゼンツ 朝山正悟 20年の轍」を、坂上俊次アナウンサーとお送りしました。

番組では朝山正悟のバスケ人生を、浦伸嘉社長(広島ドラゴンフライズ)、久保竜彦(元サンフレッチェ広島)さんら、名立たる方の証言コメントや、スタジオには安仁屋宗八さん、廣瀬純さんらが労いの言葉をかけに飛び入りで出演。番組の最後にはゲームキャプテン・寺嶋良選手がサプライズ登場しました。また、番組はスタジオの臨場感と朝山選手の表情を伝えられるよう、RCCアプリIRAWでもスタジオの様子を動画配信しました。



広島ドラゴンフライズ・朝山正悟引退記念特別番組

マリモ プレゼンツ

朝山正悟 20年の轍

2024年5月6日(月・祝)

正午~14時(生放送)



■「広島で、このチームで、ユニフォームを脱げることを誇りに感じています。」引退セレモニーの言葉で番組がスタート。

最終戦のスリーポイントについて・・・「最初のシュートが最後のシュートになった。決めきれることが出来て安心しました。1/1のシュートを狙いに行くのは緊張しました。チームメイトが場を作ってくれて、対戦相手の気遣いがあったのこ。感謝の気持ちを持って打ち切りました。」

ドラゴンフライズで一番思い出す景色は・・・「怪我をして戻って来たとき、会場に横断幕のメッセージや声援が、再スタートになり、自分の忘れられない光景です。」

座右の銘は・・・「『受けて立つ』です。頑張ってもどうしようもない時、受けて立つしかない。受け入れて前に進むしかないと捉えて生きています。初めて何か違う道や考えが生まれると思っている。」

将来思い描く夢は・・・「広島という地で、ドラフラが人々の生活に入り込んで、もっともっと発展して、前に進んで、より深くなっていけると思っています。」



■広島生活9年。「引退セレモニーで全ての気持ちを伝えた」と心境を振り返る。



■チームメイト・上澤選手と三谷選手からのコメントに耳を傾ける朝山選手。



■背後からチームメイト・寺嶋選手の登場に驚く朝山選手。寺嶋選手から感謝と熱いメッセージ。